

# 児童発達支援プログラム

ぼんぼこネットワーク

作成日：2024年4月1日

法人理念	ひとりひとりの個性を生かし、家族を始め関わるすべての人たちの協力を得て、いつか社会に巣立っていく子ども達をいっぱい応援していきます。												
事業所名	喜璃夢(児童発達支援センター) シーズ				喜璃夢(放課後等デイサービス) トウインクル			ハッジバッジ(児童発達支援・放課後等デイサービス)		ドリームリフター(放課後等デイサービス)			
支援方針	特性をふまえ ゆっくり だけど確実に一歩一歩				自分を知り 良さを伸ばしていこう				自分の未来を意識して進む道を考えよう				
営業時間	9:00~18:00				10:00~19:00 9:00~18:00			10:00~19:00 9:00~18:00		10:30~19:30			
サービス提供時間	9:30~11:30	9:30~12:30	9:30~14:30	12:50~15:30	14:40~17:40	10:00~15:00	14:40~17:40	10:00~15:00	16:00~19:00	10:00~15:00			
			延長有(~15:30)		(下校~)延長有	延長有(~16:00)	(下校~)延長有	延長有(~16:00)	(下校~)延長有	延長有(~16:00)			
送迎	なし				あり				あり 自立通所				
支援内容													
本人支援	人間関係・社会性	親子関係の構築をしたうえで、小集団(必要に応じ個別)へと導き、遊び活動を通じた様々な社会性(周りの大人との関わり方・仲間との関わり方・指示の理解とそれに対応した行動力など)を育てていきます。				○社会の中で生きていくために必要不可欠な力を身につけさせる。 ○失敗をさせない経験をさせないで、失敗をしたら乗り越えられるか共に考える姿勢を大切に。 ○相手の気持ちはどうだろうか? 気づくところから始めていく。 ○集団に参加するための、ルールや手順を知らせる。				○やがて社会の中で生きていくことになる子ども達に必要な不可欠な力を身につけさせる。 ○仲間と話し合い、失敗ではなくそれをどう乗り越えていくか一緒に考える姿勢を大切に。 ○相手の気持ちはどうだろうか? 気づくところから始めていく。			
	認知・行動	外界の情報の獲得と理解 形・色・音・大小・数と言った物の機能や属性に関する情報の獲得と、それらを活用した適切な行動への導き。 行動障害の予防的な視点でも支援していきます。				○文字・文章・読解力・数・計算力はどの段階かを測る。 ○思考の仕方・外界認知の程度を探る。 ○外界をどのように捉えているのかを探り、認知力を育む。 ○行動観察を丁寧に行い、何をしたいのかの思いを大切にしつつ考える力をつけさせていく。				○文字・文章・読解力・数・計算力を生かし、学習や将来取り組むことになる仕事にもつなげていく。 ○何をどう考えているのかを探り、自分の将来の方向性についても気がつかせていく。			
	健康・生活	生活リズムの定着と、日常生活動作の獲得 食や食器の操作・おむつ外しや排泄の自立・衣服の着脱・睡眠・清潔に関することなどを個々の発達に応じて支援していきます。				○身だしなみを整え、清潔で健康な心と体で安全な生活を送れるよう導く。 ※心身の変化がないか常にきめ細かに見守る。 ○掃除、配膳、片付け、環境整備などなど、日常生活に必要な力を身につけ、周りの人や友達に感謝されることで、自尊感情を育てる。				○親からの自立を促し、自主的に身だしなみを整え、清潔で健康な心と体で安全な生活を送れるよう導く。 ○掃除、配膳、片付け、環境整備などなど、日常生活に必要な力を身につけ、周りの人や友達に感謝されることで、自尊感情を育てる。			
	言語・コミュニケーション	思いを伝えるための言語の獲得 繰り返しの会話や絵本を通して日常に必要な言葉を理解させていく。 コミュニケーション手段の選択と活用 言葉以外にも、指や身体を使った表現、手話や文字、絵カードの活用などで、自分の意志を表現したり伝えたりできるようにしていく。				○言葉の表出がまだできていない場合は、構音指導・視覚支援の活用・耳からの情報を与えるなどで、発語へと導く。 ○自分の気持ちを表現する力がどこまであるのかを探った上で(態度・奇声・喃語・指差し・身振り・手話・筆記・言葉等)思いを引き出し、考える・まとめる力を育む。発信力を育てていく。				○こども会議の中で、相手の意見を聞き理解したり、自分の思いを発表したりの経験を積ませる。 ○文章を読みこなしたり、文章表現の機会も設定していく。			
	運動・感覚	姿勢の維持・基本的動作の獲得 個々の感覚の特性を踏まえたうえで、微細運動・粗大運動に応じた活動を通して自分の体を意識させ、基本的な力を獲得できるようにしていきます。 五感の活用も意識させていきます。				○姿勢の維持・基本的動作の獲得・微細運動・粗大運動 ○認知機能と身体機能の融合 ○感覚機能・感覚過敏の緩和				○姿勢の維持・基本的動作の獲得・微細運動・粗大運動 ○認知機能と身体機能の融合 ○感覚機能・感覚過敏の緩和			
家族支援	それぞれの家庭の状況に特化した支援を行います。 本人の意志、兄弟との関係性など家庭内の課題について考えていきます。						本人を含めた家族と共に課題を整理し、それぞれの役割について話し合い、対処法を一緒に導き出していきます。						
移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた必要な支援を行います。 就園就学を見据えた準備、地域における仲間作り、放課後児童クラブの併行利用や移行等の支援を行います。						就園・就学先の理解と協力の下、就園就学に必要な環境や本児の力の育成を行っていきます。						
地域連携	関係機関との役割分担と情報の共有を行います。						必要に応じ、関係機関との支援者会議を開催する事で、情報の共有を行い、問題や課題を整理し、具体的な支援内容を導き出し、本児に対する支援を確かなものにしていきます。						
職員の向上	事業所内研修・事業所外研修・療育支援事業への参加により療育の本質を追求し、更なる向上を目指す。 資格取得：児童発達支援管理責任者・サービス管理責任者・社会福祉士・介護福祉士・保育士等の資格取得を支援していく。												
主な行事	<事業所内> 季節のイベント(夏祭り・お茶会・書初めなど) <地域交流> 高齢者施設との交流会・スポーツ交流会・ミュージックフェスティバル				<家族交流会> ボーリング大会・映画観賞会・親子遠足(児発)・バス遠足 ウィンターフェスティバル				<家族学習会> 座談会(「栄養や食について」等)・学習会(「思春期について」等)				